

環境・CSR レポートの有効発信

リクルート視点と企業視点との融合

武蔵野大学 環境学部長 佐々木 重邦

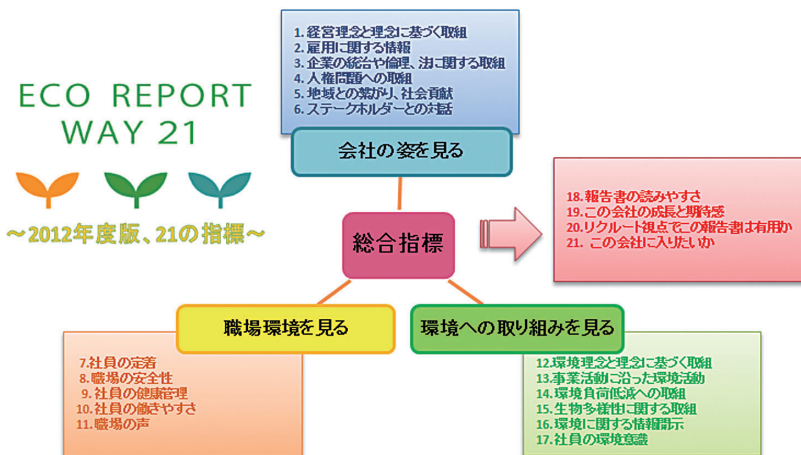
武蔵野大学環境学部では、企業が発行する環境・CSRレポートを学生が独自に作成したリクルート視点の21の指標に基づき評価・分析し、発行企業へ報告・意見交換を行う活動（ERW21:ECO REPORT WAY21）を行っています。この活動は、学生にとっては企業の環境・CSR活動を詳細に知ることができると共に企業の方々と直に意見交換を行える貴重な機会が得られるというメリットがあります。一方企業側ではステークホルダーの一員であり、今後社会人となる学生の新鮮な意見を知ることができ、今後の環境・CSRレポートをより良いものに出れるというメリットがあります。ここではERW21の活動を紹介します、企業サイドで環境・CSRレポートの有効発信にご活用いただければと考えています。

ERW21とは

この活動は平成20年度から開始し、今年度で6年目に入ります。この5年間で評価・分析した環境・CSRレポート数は42件、意見交換企業数は延べ27社となっています。当初は

学生が興味のある企業の環境・CSRレポートを評価し、ご理解いただいた一部の企業のみ報告・意見交換を行っていましたが、企業に出向き、顔を合わせて、報告・意見交換することが学生にとっても企業にとってもメリットが大きいに気が付きました。そのため平成22年度以降は、評価企業の選定の時に報告・意見交換を行うことを事前にご了解いただき、活動を進めることにしました。報告書の評価する企業数は、学生の作業量を考え、年間9社程度です。21の指標は企業から

リクルート視点による21の指標



のご意見、学生の自主的な意見をもとに毎年改善を重ね、現段階では、「会社の姿を見る」6指標、「職場環境を見る」5指標、「環境への取り組みを見る」6指標と4つの「総合指標」となっています（図参照）。

平成24年度の活動

メンバーは3年生と2年生の合同チームで、平成24年度は3年生8名2年生4名の12名でした。

12名のメンバーが各社の環境・CSRレポートを読み込み、5段階評価を行うとともに、その根拠となる「好意を抱く点」、「改善を望む点」について具体的なコメントを行います。12名の評価結果をもとに各指標の平均点をだすと共に指標毎のコメント

武蔵野大学の学生から

「リクルート目線」で荏原グループのCSR活動への評価をいただき、人事部とCSR部門とともに報告会を開催しました。働きたいと思える会社かどうか、という視点で意見交換し、「従業員とともに」のページに諸制度の利用状況などのデータを追加しました。



武蔵野大学との意見交換

「EBARA Group CSR Report 2010」から

このセミナーは、開催一週間前に定員（100名）を超える申し込みがあり、企業の関心の高さが窺えました。また9社の評価企業にアンケートを行ったところ、「ERW21のCSR報告書評価・分析結果は、来年度のCSR報告書作成の参考になりましたか」という質問に、「とても参考になりました」が4社、「参考になった」が5社でした。また「来年度も継続して評価を希望しますか」という質問に「希望する」が5社、「学生の希望があれば考えたい」が3社、「2〜3年毎に希望する」が1社でした。

ントを記載した報告書を作成して、1社あたり学生4〜5名と教員で訪問し、意見交換を行います。平成24年度は、10月の株式会社ベネッセホールディングスを皮切りに清水建設株式会社、イオン株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社電通など9社を訪問しました。活動のまとめとして12月に開催されたエコプロダクツ2012に出展するとともに同時開催セミナーで講演を行いました。

『株式会社ベネッセホールディングス様との意見交換の様々』



また自由記述欄で「活動の目標通り、企業・学生双方にとり、Win-Winではないかと考えています」、「企業に対する、学生の方々のコンタクトは、企業側の時間・資源の持ち出しになることが多いのですが、この活動は間違いなく企業にとっても得るものが大です」、「好意を抱く点、改善を望む点について具体的にコメントしてください」等々のコメントをいただきました。ERW21の活動が企業の環境・CSR報告書の改善に向けて役に立つ

ているとの感触を強く受けました。

ERW21メンバーのコメントを受けて、次年度の環境・CSR報告書を改善したとの意見も多く伺っていますし、実際に次年度のCSR報告書にその内容を掲載していただいている例もあります。

ERW21の活動内容は、ホームページ (<http://www.ecoreport.jp/>) に詳しく掲載されていますのでご興味のある方は是非ご覧ください。

今後の活動

昨年度の3年生メンバーが抜け、今年度新メンバーが加わり、新たなスタートを切りました。評価の質を維持、向上することが何よりの課題となります。

まずは新メンバーの教育から始めることとなります。学生にとっても企業にとってもメリットが大きいERW21の活動を多くの企業に知っていただき、環境・CSRレポートの有効発信にご活用いただけることを願っております。